

『夜と霧』

- 人間性の喪失と再生
  - 
    強制収容所での体験
    - ☑ 個人の尊厳は踏みにじられる
    - ☑ 人間は番号で管理される存在
    - ⇒ ただ生き延びることだけが目的
  - 極限の状況
    - 人間性が奪われるが、
    - 同時に人間としての尊厳を再認識する機会に
    - 最後まで奪われない"自由"が存在する
- 苦難への意味付け
  - 「人生の意味」を提示
    - 自分が人生に問うものではない
    - 人生から問われているもの
  - 
    苦難に直面
    - ✕「なぜこんな目に遭うのか？」
    - ○「この苦難にどのように立ち向かうか？」
    - ○「どのような意味を見いだすか？」
  - 自分なりの意味を見出す
    - 苦難を乗り越える力を得る
    - 現代にも通じる普遍的なメッセージ
- 自分の人生の意味を見出す
  - 現代社会
    - 「意味への欲求」が満たされていない
    - 多くの人が漠然とした不満を抱えている
    - ⇒ 解決策：自分で意味を見出すこと
  - 
    人生の意味
    - 成功や失敗で測るのではない
    - 自分にとって意味があるかどうか